

チーム三瀧（学校・家庭・地域）心を一つにして乗り越えよう 子どもたちのために

久留米市立三瀧小学校 学校だより No.12



# ぎんなん

令和6年3月13日

校長 原文也

児童数 496名

本年度の重点目標「主体的・協働的に取り組む子どもの育成」

## いよいよ明日は卒業式

昨日、今日と卒業式のリハーサルを行いました。

両日とも、6年生は、これまでの練習の成果を発揮しようとして一人一人が真剣に取り組むことができました。担任の先生から名前を呼ばれた時の返事や卒業証書の受け取り方、呼びかけ、歌、待っている時の姿勢など、様々な場面において一生懸命さが伝わってきました。まさしく、三瀧小学校の最上級生としてふさわしい姿でした。

5年生も、真剣そのものでした。背筋をピンと伸ばし、きちんとした姿勢でいすに座り、真剣な表情で6年生の姿を見ていました。今日は、昨日よりもさらに一人一人の頑張りが伝わってきました。

5・6年生の姿を見ながら、このようにして149年もの歴史ある三瀧小学校の「伝統」がつけられてきたことを実感したりハーサルでした。

すでに5年生は、最上級生に向けて、様々なことに取り組んでいます。1日(金)の6年生を送る会では、事前の準備や練習から当日の運営まで、一人一人が自分の役割を責任をもって果たし、6年生のために感動ある心あたたまる送る会を行うことができました。委員会活動や登校班なども、6年生からしっかりと引き継いで頑張っています。明日、6年生が卒業したら、自分たちが三瀧小学校を引っ張っていく最上級生になることを自覚した言動がいろいろな場面で見られます。もちろん、卒業式の準備も、5年生が中心となって進めてきました。卒業式の練習に参加することを通して、さらに最上級生に向けてのやる気が高まったことだと思います。

さあ、いよいよ明日は卒業式。6年生は、5年生の思いをしっかりと受け止めて式に臨んでください。6年生一人一人がかけがえのない主役です。周りの人たちに過度に合わせる必要はありません。一人一人が主役ですから、これまで卒業式に向けて頑張ってきたことを自信にして、自分らしさを思いっきり表現してください。そして、三瀧小学校の最上級生として、これまでで最高の「自分から進んで」「かかわり合う」姿を見せてください。

6年生の保護者の皆様、この6年間で見事に成長したお子さんの姿にご期待ください。



# 自己評価および学校関係者評価結果のお知らせ

本年度の重点目標を「主体的・協働的に取り組む子どもの育成」と設定し、全職員のベクトルをそろえ、目標達成をめざして教育活動に取り組んできました。地域学校協議会委員の皆様から様々なご意見やご助言(学校関係者評価)をいただきましたのでお知らせします。昨日配付しました「ぎんなん」No.11でお知らせしました保護者アンケートの結果とあわせて、この自己評価や学校関係者評価の結果を次年度に向けて本校の教育活動に生かしていきたいと思っております。今後とも、保護者の皆様、地域の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

自己評価 4できた 3だいたいできた 2あまりできなかった 1できなかった

## 【学びをつなぐ授業】

### □「くろめ授業スタンダードを活用した授業改善」 3

- ・ 友達の発表に対して、他の子が質問をしたり、よかった点を言ったりする場を多く位置づけると、さらに発表する子が増える。
- ・ 「わかる」「できる」ことの積み重ねで、勉強が楽しくなると思う。
- ・ 「聞き返し」の活動は、思考を深めるので、自分の力になっていく。
- ・ さらなる書く力の向上が望まれる。話すことの苦手な児童にとっても、書く活動は有効。

### □教員の意識・指導力の向上の取り組み、外国語教育の推進 3

- ・ 今、ICT活用と外国語活動は、子どもたちに身につける力として必ず必要だと思おう。
- ・ ICTを数多く活用されていることが、子どもたちの慣れていく様子から伝わってきた。

## 【楽しい学校】

### □不登校対応・いじめ問題への取り組み 3

- ・ 友達同士の関係を上手くつないでくださる担任の先生に、保護者の方が感謝されていた。
- ・ 学校が好きで子どもの割合が非常に高い。
- ・ 学校生活アンケートの細かい分析がされていて、子ども一人一人を大切にしている。
- ・ ○○さんと、さんづけで友達の名前を呼ぶようにすると言葉づかいがよくなると思う。
- ・ いじめに対して、その分析結果に基づき対応されている。継続した取り組みが必要。

## 【笑顔の先生】

### □教師力向上の取り組み 4

- ・ 教師力は人間力だと思う。笑顔で子どもたちを包み込む先生に安心してついていく。
- ・ 校内研修に対する教員の評定尺度が高い。校内の掲示物の充実を図ってほしい。

### □業務改善の取り組み 3

- ・ 会議の回数や時間設定が適切に行われている。
- ・ 仕事の効率化は意識されているが、さらに分析を行い取り組む必要がある。

## 【協働する学校・家庭・地域】

### □地域学校協議会提言①(家庭学習習慣の定着) 3

- ・ 家庭と学校だけでなく地域にも、子どもの居場所を数多くつくる必要がある。
- ・ 家庭学習は徐々に習慣づいてきているが、家で読書をする時間が少ないと思う。

### □地域学校協議会提言②(メディアの使用時間を減らす取り組み) 2

- ・ 継続して取り組まれているが、あまり成果として表れていない。
- ・ 保護者の理解と協力が必須。保護者へのさらなる啓発を図り、達成感を向上させる。

### □中学校区人権のまちづくりの取り組み 3

- ・ 小中合同研修会は意義深いと思う。今後、LGBTQに関する人権学習が必要。

